

天国への手紙

ラジオネーム：みぎひだり
タイトル：母へ

四十九日が過ぎ、ようやく落ち着きました。

長い療養生活を経ての往生だから、覚悟は出来ていたので、悲しいとかつらいとかという気持ちはありません。

ただ、実際に目の前からいなくなって、仏壇の中でほほ笑む遺影を眺めていると、やはりさみしいものです。

あなたとの思い出はもちろん尽きないのですが、人柄を一つ挙げるのであれば、とにかく「方向音痴」でしたね。

家族で旅行に行けば必ずと言っていいほど一人迷子になり、学校で授業参観があれば教室にたどり着く前に必ず迷子になり、授業の途中で入ってくるのがいつものこと。

クラスメートから「お前の母さんまた迷ってたな」っていつも冷やかされたものです。

昔、おばあちゃんも言っていました。

「あの子は子供の頃も、一緒に買い物に行って、ちょっと手を放すとすぐに見えなくなっちゃうんだよ」と。

そんなあなたは、ちゃんとあの世に行くことは出来ているのでしょうか？
四十九日の法要を終え、お坊さんと雑談した時は、

「毎日たくさんの方が亡くなっていて、そのたくさんの方々がみんな仏様のもとへ行きますので、一人だけ迷うことはありませんよ」と言って笑っていただけ、ちゃんとみなさんについて行けたのだろうか？

幸い俺は親父に似たのか、方向音痴にはならず済みました。

お盆の時、ご先祖様は我が家に戻ってくるというけれど、

来年のお盆、あなたはちゃんとウチまで迷わずに戻れますか？

あまり迷っていると、我が家でくつろげる時間が短くなってしまつから、ちゃんと戻ってくるんだよ。

リクエスト曲：渡辺真知子「迷い道」